蔵本通支坊は、熊本から恒松見照先生。熊本に伝わる「面の上の争い」というお話を聞かせて下さいました。

ある時、顔についている目や鼻たちが、「ワシが一番エライ」とケンカをはじめました。「ご飯を食べないと死んでしまうんだぞ」と口が口火を切った。すると「息をしないと死んでしまうぞ、鼻の方が上についているからエライ」と鼻。すると「口も鼻もひとつじゃないか、目は二つだからエライ」と目。眉毛が言った「何を言うか、目を開けておられるのは眉毛が汗をくいとめているからだぞ」と。その話を聞いていたのが耳。「バイクが横から来ても耳が音を聞くことができるから安心なのだぞ」。すると髪が「物が落ちてきても受け止めて下のお前たちを私が守ってやっているのだぞ」と。最後にヘソが言った。何を言うか、もともとこの世に生まれて来られたのは私のおかげだぞ、私が一番エライ」。それを聞いた他の者たちが言った「へーそー」（笑）。

西教寺賞の除湿器が当たった西川さんご一家。

この世に生まれてきたのはケンカするためではない、私が幸せに暮らせるのは一人の力ではありません、みんなの力で幸せに暮らせるのです。私たちは人間だけど時々鬼になってしまいます。そんな私たちを心配して、「そうじゃないでしょ」って大切なことを教えてくださるのが阿弥陀さま。今日は、手を握り拳にしてしまう私に、手を合わせてにこやかに暮らしましょうと教えて下さる阿弥陀さまにお参りする大切なご縁です、とお話下さいました。

その後恒例のビンゴゲーム。大人と子ども九十五名は、大切なことを学び、楽しく過ごしました。

**お仏壇いりませんか**

古いものですが3年前にお彩色してキレイです。幅 90 cm × 高 170 cm × 奥 66 cm。希望者はお寺まで。TEL0823（21）2798


## でんきを消して、スローな夜を。100万人のキャンドルナイト。

アロマキャンドルの光で歌うしまひろこさん。六月十日、蔵本通支坊で行われたお寺の子ども会（日曜学校）で残ロウを再利用してアロマキャンドルを作製、わずかな時間ですが素敵な歌に耳をかたむけ、スローに過ごしました。キャンドルナイトは、今年でめでたく十周年を迎えました。

## 濱井芳彦さん得度

六月十六日、長ノ木本坊で得度体験記をご法話される濱井芳彦さん。濱井さんは一年間広島仏教学院で学び、優秀な成績（本願寺賞受賞）卒業。五月にめでたく得度され（僧侶となられ）ました。記念にお寺にホワイトボードを寄贈下さいました。


**ご意見・ご感想・寺報に載せる記事・原稿を募集しています。**

宛先　〒737-0051
呉市中央 7-7-13　西教寺蔵本通支坊内
西教寺報編集局　宛
FAX 0823-21-2795
Email info@saikyoji.net


## 誓子の日記

■みなさんこんにちは。西教寺では昨年から農業部ができました。三月の原発事故後、二男学が「これからは自給自足の時代だ」と言ったのを聞いた智寧さんは、さっそく近くのスーパーに学を連れて行き、トマトの苗を買って植え、みごと収穫しました。■それに味をしめた農業部員親子二名は、今年も活動を開始しました。今年は昨年より少し時期が遅かったらしく、トマトの苗がなくてキュウリにしたということでした。■しばらくして、三男遊の運動会を見に来た私の実家の両親が、その苗を見て言いました。

「これはなすびだよ。」

ガハハハ、キュウリの苗もなすびの苗も区別がつかない農業部なのでした。